

あだちどまんなか



中島根

平成29年1月31日

足立区立中島根小学校

校長 武井利依

平成28年度1月号

子、子貢に謂いて曰わく、女と回と孰れか愈れる。

対えて曰わく、賜や、何ぞ敢えて回を望まん。

回や一を聞きて以て十を知る。賜や一を聞きて以て二を知る。

子曰わく、如かざるなり。吾れと如かざるなり。

校長 武井利依

「冬はつとめて…」5年生が国語の「古文に親しもう」で暗唱している「枕草子」の第四段の書き出しです。「冬は早朝がいい」に同感です。毎朝、電車やバスの車窓から、雪化粧をした富士山を見逃さないようにしています。朝から何かよいことがありそうな気持ちになります。

年明けの中島根小学校の児童の活躍をご紹介します。15日には、6年生9名が青少年対策第11地区委員会主催の善行青少年表彰を受けました。代表児童の言葉も力強く訴えてくれました。同日、足立区小学校サッカー大会予選大会で決勝大会進出を決め、28日の決勝大会で2試合勝ち上がり、準決勝に駒を進め、見事3位になりました。29日の将棋大会、あだち環境かるた大会にも多くの児童が参加しました。環境かるた大会個人戦、高学年の部では、4年生男子が健闘し3位に輝きました。いずれの競技も、仲間がいるからできる、相手があるからこそ競うことができるのです。自分自身を磨くことは、仲間から学んだり、共に競ってくれる相手を真似たり、相手から学ぶことから始まります。仲間や初めて出会う相手への尊敬の気持ちをもって感謝を忘れずに同じ時を過ごした経験を他のことにも活かしてほしいと願います。

上記の章句は、孔子と弟子の「子貢」との対話で、今につながる言葉の出典となっているものです。「回」は弟子の「顔淵」のことです。子貢も顔淵もともに孔子にとっては優秀な弟子ですが子貢には時折戒めることもあるような師弟関係です。子貢にどちらがすぐれているかとたずねると、「私などは回におよびません。回は一を聞いて十を理解しますが、私は一を聞いて二がわかる程度です。」と答えました。それを聞いて、師は「お前は素直でいい、たしかに及ばないね、私もお前と同じで回には及ばないよ。」と微笑まれた、という内容です。友のよいところを素直に評価することのできる客観性も持ち合わせていることに師として嬉しかったのです。対話をしている師弟がともに認める顔淵とは弟子の中でも一番将来有望であったことは間違いありません。しかし、「一を聞いて以て二を知る」子貢もかなり有望です。「一を聞いて以て一を知る」ことを当たり前にしたくないものです。毎日の会話の中で、聞いたことを自分のものとする、さらに咀嚼して内容を広げ深めることができる人間関係を構築したいものです。相手を敬い、よいところを認め、真似て自分の中に取り入れてほしいと願っています。

2月の生活目標：進んで体をきたえましょう

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 4時間授業 (1-3のみ 5時間授業)	2 入学説明会	3 SC アニメの5年 書き初め展 終	4 あだち 男子サッカー大会 予備日
5	6 6年 中学校見学	7 SC 短縮時程 補習	8 4時間授業	9 短縮時程 補習	10 SC 短縮時程 漢字検定	11 女子サッカー大会
12 女子サッカー 大会予備日	13 学力調査 クラブ発表始 家庭学習展示週間始	14 SC 避難訓練	15 あだち SSW 4時間授業	16	17 短縮時程 算数検定	18 土曜授業 3年七輪体験 4年2分の1成人式 家庭学習展示週間終
19	20	21 SC 短縮時程	22 クラブ活動	23 1・2・3年 交通安全教室 6年保護者会	24 SC	25 合唱・合奏研究演奏 会(コーラス部)
26 ふれあいコン サート (コーラス部)	27 委員会活動	28 SSW SC	SCはスクールカウンセラー 「あだち」はあだち小学生基礎学習教室です。 SSWはスクールソーシャルワーカー来校の日です。			

※書き初め展…2月3日(金)まで

※家庭学習展示週間…2月13日(月)～18日(土)まで

『木のうた』でアニメーション

-岩辺 泰吏先生をお迎えして-

1月18日(水)、4年1組、2組で元明治学院大学教授で「読書のアニメーション研究会」代表の岩辺泰吏先生に読書の楽しみを伝えていただきました。イエラ・マリ作の『木のうた』を16冊お持ち下さいました。この絵本は、一本の大木が見開きページの同じ位置に季節の移ろいととも描かれている美しいもので、文字はありません。

16のグループに分かれて、担当したページに3行の言葉を考えました。最後に丸くなって、それぞれの担当ページを開き、言葉を発表していきました。世界で一つだけのそれぞれの学級の『木のうた』ができました。

2月3日にも5年生に読書の楽しみをお伝えいただく予定です。ご興味がある皆様は、副校長までご連絡下さい。



たてわり班活動

特別活動部 柏谷 梨沙

今年度は、5月、9月、10月、11月に4回のたてわり班活動を行いました。このたてわり班活動では、各班の6年生が遊びを企画し、1～5年生までの児童と共に交流を深めてきました。

年が明け、1月31日にはロング集会が実施されます。6年生たちが協力して、全部で18個のお店を出します。各お店では、1～5年生が楽しめるようなゲームが企画されており、クリアするとスタンプをもらうことができます。5年生は、1年生から4年生を引率し、スタンプラリーをしていきます。このようにして、来年度に向けて6年生から5年生へ、班長の仕事の引き継ぎが行われるのと共に、6年生は店番をして下級生を楽しませるといった最後の役割を果たすのです。

そして、3月には6年生とのお別れ集会があります。この集会では、5年生が6年生の卒業を祝うために、たてわり班での遊びを企画します。5年生には、今まで、遊びを企画してくれた6年生に感謝し、来年度の最高学年としての自覚を持って取り組んでほしいと考えています。



初めての「席書会」

第3学年担任 吉塚 浩一
近藤 裕良

1月16日(月)に席書会が行われました。

今年度から毛筆書写の学習が始まった3年生にとって、初めての席書会でした。

最初は、今までに大きなだるま筆を手にしたことがなく、学校の授業で初めて持つという子どもたちも多かったのですが、思い通りの筆運びをすることの難しさにもうなりながらも、楽しんで取り組んでいました。

そして、「折れ」「はね」を勉強するころには、すっかりコツを体得して、バランスにも気を付けた格好のよい文字を書くことができるようになってきました。

上達するのが早い子どもたちです。



子どもたちの成長を確かめる良い機会が今回の席書会です。12月の練習のときから気合満点、1組も2組も先生の話をよく聞き準備を素早く行いました。

書く際にも体育館は静寂に包まれ、無駄話一つなく集中して取り組んでいました。元気でやんちゃな日常の姿からは、想像できない程でした。

そして、迎えた本番、練習時の気合をそのままに、冬休み中にも練習を重ねたことも加わり、以前よりも格段に、上手に書くことができました。文字の線が太く、堂々とした作品が多くなったことを、何よりも嬉しく感じました。

「練習よりもうまく書けました。」

「月のはねがうまくいかなかったのが悔しいです。」

「頑張ったので、金賞が取れるといいです。」などといった子どもたちの感想を聞くことができました。

